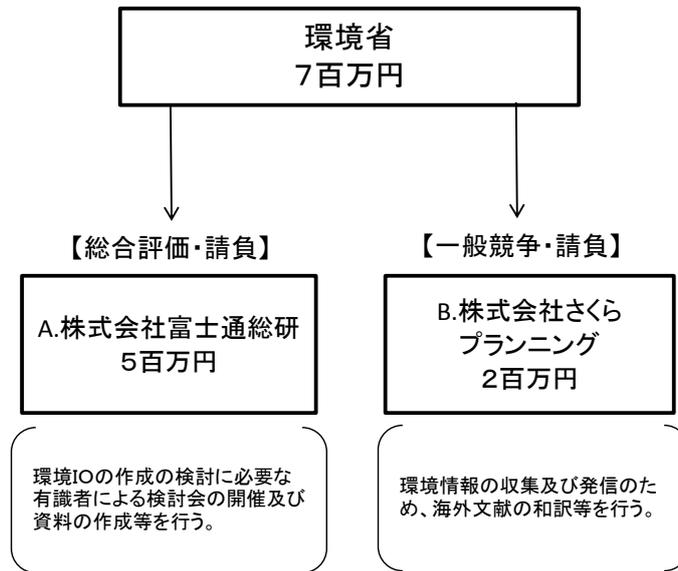


行政事業レビューシート (環境省)

事業名	公的統計の整備に関する基本的な計画推進費		担当部局	総合環境政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成22年度～		担当課室	環境計画課企画調査室		中尾 豊		
会計区分	一般会計		施策名	9-4 環境政策の基盤整備				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	統計法第4条		関係する計 画、通知等	公的統計の整備に関する基本的な計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	公的統計の整備に関する基本的な計画(平成21年3月13日閣議決定)では、「環境に関する統計の段階的な整備」として環境分野の統計の充実が求められており、その具体的な取組の一つに、環境分野分析用の産業連関表の充実が位置付けられた。これを受け、経済活動と環境負荷との間にどのような関係があるのかを定量的に明らかにすること等を目的として、環境分野分析用産業連関表(以下「環境IO」という。)を作成し、公表する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	平成22年度は、有識者による検討会を開催し、環境IOの作表方法や整備の対象とするべき環境負荷等について検討を行い、平成23年度以降の作業方針の骨子を作成した。平成23年度以降の事業予定は以下のとおり。 平成23年度：22年度の検討結果及び有識者による検討会での議論等を踏まえ、環境IOの作成要領を策定する。 平成24年度：環境IOの作成要領に基づき、必要な環境関連の統計データの収集・整備を行い、環境IOの作成に着手する。 平成25年度以降：平成24年度に引き続き、環境分野分析用の産業連関表の作成作業を行う。また、データの精緻化や平成26年度に総務省が作成する平成23年版産業連関表に対応するために必要な検討・調査等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	15	14	13	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	15	14	13	
	執行額	-	-	7	-	-		
執行率(%)	-	-	47%	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本件事業は、環境分野分析用産業連関表の検討及び作成に係る業務であり、定量的な指標を以て成果を測定することは困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本件事業は、環境分野分析用産業連関表の検討及び作成に係る業務であり、定量的な指標を以て活動を測定することは困難である。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	-	()	()	
単位当たり コスト	700万円		算出根拠	本件業務の遂行に要した費用。				
平成 23 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0	0.1	平成24年度の本件業務においては、関係省庁等が有する環境関連の各種統計データについて個票レベルでの収集を行い、集められたデータを産業連関表のフレームワークに対応させる形で整理を行うほか、環境IOの作成上、当該データに不足・不備がある場合には、必要な推計・補正等を行うことを予定しており、作業量の大幅な増加が見込まれるため。				
	環境保全調査費(雑役務費)	14	13					
計	14	13						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本件業務の支出先の選定に当たっては、価格による競争のほか、企画提案を評価に加えた総合評価方式を採用することで、コストの削減を行いつつ、業務遂行能力の高い企業と契約を結ぶことができている。</p> <p>また、平成22年度の業務実施においては、有識者による検討会を開催し、平成23年度以降の作業方針の骨子を作成する等、当初の予定どおりの目標を達成している。</p> <p>本件事業は、公的統計の整備に関する基本的な計画(平成21年3月13日閣議決定)において、環境分野分析用産業連関表の充実が求められていること及び国全体の公的統計の基盤整備を行うものであることから、国が主導して直接実施をする必要がある。</p> <p>以上から、引き続き、効率的かつ効果的に実施するとともに、本事業を一層推進していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>事業の重要性は理解するが、執行率が低いため、予算の執行状況を踏まえた要求にすること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>執行状況を踏まえ、予算要求額を縮減した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 株式会社富士通総研			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	調査業務費	5			
計		5	計		0
B. 株式会社さくらプランニング			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	翻訳料	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	株式会社富士通総研	環境IOの作成の検討に必要な有識者による検討会の開催及び資料の作成等を行う。	5	3	33%
2	株式会社さくらプランニング	環境情報の収集及び発信のため、海外文献の和訳等を行う。	2	20	42%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					